

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・8月前半の雨、後半の晴れ、どちらも店にとってはプラスである。新しい顔ぶれの客も増えている。来年の大きな祭りに向けての会合や観光での秋の入込み、増えた客に合わせ、更なる品ぞろえに挑戦していけば売上はついてくる。
	やや良くなる	一般小売店〔家電〕（経営者）	・テレビのデジタル化のため買換えが増加している。
		百貨店（販売促進担当）	・昨年の米大手証券会社の破たん以降、売上の低下が続いているが、1年経過することで下げ幅は前年よりも改善される。ここにきて新型インフルエンザの影響が懸念されるが、大きな事件がなければ景気はやや回復する。
		スーパー（店長）	・今のままで行けば、9月は前年比121%、10月は122%の来客数となり、売上は確保できる。
		家電量販店（店長）	・エコポイント商品の年末年始商戦には期待が持てる。
		旅行代理店（従業員）	・新型インフルエンザの報道による今後の動向だが、春先は報道の激化によって客が旅行を控えていたが、大したことは無いという客が増えるのではないかと楽観視している。
		ゴルフ場（業務担当）	・先月は来客数の増加があまり見込めなかったが、今月に入って、価格を下げたこともあり、堅調に伸びており、先行きが良いからと感じている。2、3か月先の取り込みについて、9月は苦戦しているが、10、11月のコンペの引き合いも来ている。
		住宅販売会社（従業員）	・一部企業の景況感に改善の兆しがあることから経済全体に波及効果が期待できる。
	変わらない	商店街（代表者）	・近郊の工場は、週3日出て4日休む状況が続いている。工場等がフル活動をして地域の人々が買物をしないことには良くならない。
		商店街（代表者）	・周辺企業に景気底打ち感が出ていない。客は必要な物以外買い控えている。
		百貨店（営業担当）	・総選挙の結果に非常に左右されると思うが、客の節約、すべてにおいての慎重な買物も含めて厳しくなる。ただ、いろいろな形で景気回復が行なわれれば、結果が出て来る。
		百貨店（営業担当）	・相変わらず、客の様子は慎重に買物をしている感じで、余計な物は一切買わない、悩んだ時も買わないというような様子である。
		百貨店（営業担当）	・10月までは今までどおり前年90%前後で変わらない。昨年厳しくなった11月からどうなるのかがポイントである。
		百貨店（販売促進担当）	・消費者の低価格に対するニーズは、より一層強まると思われる。来客数の増加が見込めない中、売上を確保することはより困難になる。
		コンビニ（経営者）	・ここ2、3か月先は何の行事も無く、イベントも無いので、変わらない。
コンビニ（店長）		・2、3か月先は、若干、落ちると思うが、年間としての流れは特別大きく下回ってくることはない。必要のあるものや興味のあるものは買うが、無いものは買わないという状況が、特別変わって行く様子はない。	
衣料品専門店（店長）		・年々、売上高が減少しており、秋冬物の購買力にも力強さが無い。	
乗用車販売店（営業担当）		・補助金を当てにした商談が少し増えている。当社でも数台契約があったが、まだまだ厳しい。	
乗用車販売店（営業担当）		・エコカー減税の効果が薄れてきており、販売量の増加が見込めない。	
住関連専門店（仕入担当）		・9月の大型連休を控えるが、消費行動に変化は期待できず、家近レジャーに関わる商材のみの販売が見込める程度である。	
住関連専門店（開発業務責任者）		・生活に対する不安感等が根強い。	
一般レストラン（経営者）	・この先、売上は地元客が中心になるが、特にスナック関係の話によると単価の安い店に集まり、その店だけで解散してしまうので、客の動きが悪い。		
観光型ホテル（営業担当）	・バスを利用した募集旅行は大幅に減少しているものの、個人客の増加でそれをカバーすることができている。しかし個人客の動向も新型インフルエンザ等に左右されるので、先行き不透明である。また客の財布のひもは固い。		
都市型ホテル（経営者）	・底で安定してしまっており、企業も活気が無く、すべてが停滞している。		

	タクシー運転手	・会社員、公務員の給与も目減りしており、勤務帰りに飲み歩く人も減少し、景気回復はまだ先である。
	テーマパーク（職員）	・景気動向に加えて、新型インフルエンザによる影響で、訪日団体や学生団体などのキャンセルが懸念される。
	ゴルフ場（従業員）	・来場予約が前年と同じくらいである。
	競輪場（職員）	・他の競輪場の記念競輪の売上が、前年度に比べ10%落ちている。
	その他レジャー施設 [アミューズメント] （職員）	・ライバル店との関係もあるが、どちらかといえば価格競争が中心となっていて、単価の下降傾向が見られるので、来客数がある程度増えたとしても全体的には厳しい。
	その他サービス[立体 駐車場]（従業員）	・近くの競合他社が1社閉鎖している。こちらに好影響かと思ったが、その影響はなかなか来客数に反映されず、また、単価に関しても底上げにはなっていない。景気については変わらず、横ばいでの推移となる。
	その他サービス [フィットネスクラ ブ]（マネージャー）	・企業の生産活動は活発にはなっていないが、仕事をシェアしており、収入が変わらないため、景気は横ばいと予測する。
	設計事務所（所長）	・相変わらず低迷が続いているが、来月、再来月と決算イベントがあるので、集客に期待したい。
	住宅販売会社（従業員）	・住宅展示場や現場見学会への来場者数が伸びず、また、来場者が購入を決断するまで時間が掛かっている。
やや悪くなる	一般小売店[乳業] （経営者）	・一般消費について上向きの要素が無い。まだまだ出費を抑える傾向である。
	一般小売店[家電] （経営者）	・一気に悪くなる様子はないが、徐々に消費内容も悪くなって来ている。より安価な物を求める消費者が増えている。
	スーパー（経営者）	・新型インフルエンザの影響が未知であり、購買意欲は更に低下する。
	スーパー（統括）	・食品単価はこの先まだ下がることが予測され、2番手3番手のメーカーの商品やプライベートブランド商品が売場を占めるようになっており、価格競争はしばらく続きそうである。
	コンビニ（経営者）	・先行きに対しての不安や実収入減により、消費できる立場の客層でも買い控えがでてくる。
	コンビニ（経営者）	・以前は、たばこのタスポカードが普及していなかったが、最近では35%以上の普及になっており、手売りでは売れなくなって来ている。
	自動車備品販売店（経営者）	・身の回りの工場や会社が中国やベトナムに生産をシフトしている。日本国内で企業が会社を営むことが大変難しくなっており、仕事が失われている。客は物を買うことをかなり控えているので、これからもまだ悪くなりそうである。
	高級レストラン（店長）	・夏には収まると思われていた新型インフルエンザが逆に拡大しており、秋から冬にかけて、深刻な状況が予想されるため、より一層、客の外出や消費マインドが冷え込むことが予想される。
	一般レストラン（経営者）	・慢性化のなか変わらないという印象ということは多少なりともマイナス方向へ進んでいると思われる。
	都市型ホテル（支配人）	・ホテルの宿泊のメインであるビジネスマンからの予約が減っている。今後経済の回復に応じて増えてくると思うが、現時点で個人客、ビジネスマンの予約は前年比で20～30%減っている。
	旅行代理店（副支店長）	・新型インフルエンザの影響がどのくらい出るか分からないが、現状ではこの先の受注を見ているとかなり影響がある。また、一般のツアーも募集参加者が減少する。年末年始や9月の大型連休の受注も昨年と比べると減少している。また原油の値上げがここにきて少し出てきているのも気に掛かる。
	通信会社（経営者）	・得意先の状況を見ても、販売が例年の半分以下というところが多数を占めている。中央の景気回復の話は聞くが、地方の景気回復には最低でもあと半年は掛かるとの意見が多く、当社の実情をみてもそう思える。
	ゴルフ場（支配人）	・県外来場者を集客しようとしているが、土、日の高速道路の渋滞が悪影響し、集客が思ったより伸びない。
	美容室（経営者）	・美容院の来客数が増える良い要素が何もなく、秋に向かっておしゃれをする客があまりいない。
悪くなる	商店街（代表者）	・環境対応車の減税や補助とエコポイントなどで多少は良くなる要素があるものの、生活全般は節約傾向で厳しい。
	一般小売店[酒類] （経営者）	・天候不順で、飲料水、ビールが相当不振であり、今後も回復する見込みがない。

		一般小売店〔青果〕 (店長)	・500メートルくらい先に、10月にまた1,500平米くらいの総合スーパーがオープンする。人口が減っているなか、このようなスーパーが出来るだけでも売上は落ちて行く。
		スナック(経営者)	・総選挙の時期は悪くなるのが通例だが、先行きの不安感が払しょくされないと、落ち込みに歯止めが掛けられない。
		観光型ホテル(経営者)	・新型インフルエンザの流行により、レジャー志向の低下が予想される。
		都市型ホテル(スタッフ)	・大手企業が動かないところに来て、県や市が財政悪化している状況にあり、ますます混迷を深めるばかりである。対応策といっても自己資本が少ないために、修繕等、現在、非常に苦慮している。
		旅行代理店(支店長)	・新型インフルエンザが流行しており、9月以降旅行業界では1番の繁忙期になるが、新型インフルエンザの影響が今後非常に心配になる。春のような旅行の中止、延期等が起こると思われるので、今後新しい客の獲得が非常に大きな点になる。一番の悪い条件が起こりつつある。
		美容室(経営者)	・地方都市では業種によって良い業種があるとも思えないほど冷え切っている。昨年より店を閉めるのを多く見かける。跡継ぎがないこともあるが、町を歩く人がいない。新規に開業した美容業者もいたが、最初のうちは客も入っていたようだが、今はそのようには見えない。全般的にお金を使える余裕がない。
企業 動向 関連	良くなる	輸送用機械器具製造業 (総務担当)	・北米への自動車輸出が好調になって来て、9、10月と増産体制に入っている。9、10、11月と前年比90%強まで戻るとい状況になって来ている。
		その他製造業〔環境機器〕 (経営者)	・環境機器 フロン回収機は一巡しているが スプレー缶、ガス缶、ライター等の処理装置が普及期に入ってきた様子である。当社としてはものづくり中小企業製品開発等支援補助金の採択が決まり、その他の開発品の仕事も重なっていく。
やや良くなる		プラスチック製品製造業 (経営者)	・自動車の生産台数、販売台数も徐々に回復してきたようなので、これからの受注高の伸びに期待している。
		一般機械器具製造業 (経営者)	・在庫調整のためしばらく動きが止まっていた品物も、夏休みが明けて徐々にではあるが動き始めており、回復のスピードは緩やかではあるが、仕事が徐々に戻ってきている。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・当社のメイン客先の使用製品のフルモデルチェンジが来月下旬より始まるのを期待して、受注増につながることを期待している。
		輸送用機械器具製造業 (経営者)	・大変良くなるはないが、今の最悪な状況よりも今後はいくらか良くなる。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕 (経営者)	・市場でのジュエリーの販売は引き続き厳しいが、卸、小売りの在庫調整はほぼ限界まで来たので、秋口用の仕入に期待したい。
		窯業・土石製品製造業 (経営者)	・年末商品受注も例年ならば既に動きがあるが、今年はまだ動きが無い。
変わらない		金属製品製造業(経営者)	・だんだん取引先の在庫量も少なくなってきたので、これ以上悪い方向にはならない。
		一般機械器具製造業 (経理担当)	・生産量が増えないので、何も変わらない。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・民間の設備投資が全くないので、当社では継続的な設備の受注が少し厳しい。今年度はかなり低空飛行のままである。
		輸送業(営業担当)	・季節変わりになり、冬物家電やその他の紹介出荷等があるので、例年並みの荷動きはある。しかしながら、荷主より、コストカット、運賃値下げ交渉や、燃料などの上昇も多少あり、仕事量は同じでも利益は減少している。しばらくは我慢が続きそうである。
		金融業(総務担当)	・通常予定される物品等の経費支出増加については、ひと段落した感じはあるが、新型インフルエンザ流行への備えに関する経費が掛かりそうである。
		新聞販売店〔広告〕 (総務担当)	・新聞の定例求人広告特集は実際の求人より広告あるいは記事の方が多く、正社員の求人はゼロに近い。また、求人チラシはほとんど見られなくなっている。各地で開かれる予定の花火大会が、寄付が集まらない事情で今年は中止となるところがある。
		社会保険労務士	・多少売上は増加してきてはいるが残業したりするほどではなく、従業員の収入が増えていない。
		その他サービス業〔情報サービス〕 (経営者)	・厳しい状況は、今後も続く。

	やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（営業担当） 化学工業（経営者） 電気機械器具製造業（営業担当） 金融業（経営企画担当）	・仕事の受注量がかなり少なくなっており、今後についても、先行きが見えない。 ・在庫品を売却することにしたが、客先の景気も冷え切っているため、売れるかどうか不明である。 ・秋以降の受注見通しが非常に悪い。近くでは相変わらず人員整理、倒産も報じられている。 ・消費不振と企業活動の停滞から来る雇用環境の悪化という負の連鎖、デフレに陥る可能性がある。
	悪くなる	食料品製造業（製造担当） 出版・印刷・同関連産業（経営者） 電気機械器具製造業（経営者） 建設業（総務担当） 広告代理店（営業担当）	・天候不順で、農作物が順調に育っておらず、また7、8月の大雨の影響で、九州の大豆などが駄目になったということから、このまま行くと原料高になり、デフレスパイラルとダブルで体力を奪われる。 ・仕事量も減っていく一方である。 ・いまだ先が全く読めない。単発受注でつないで、延命を図っている。 ・公共工事主体で土木、舗装工事を行っている。相変わらず安値受注のため、受注高は前年並みに確保出来たが、各工事で利益を確保するのは厳しく、まだまだ一般経費を確保するまでには至っていない。金融機関からの追加融資を受けられない。 ・売上の減少に、底打ち感がない。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（営業担当） 人材派遣会社（管理担当） 職業安定所（職員）	・製造業では、在庫調整が一段落し、次のステップとなる。地域の主力企業が回復しないと、小売業の売上もアップせず、景気循環の流れがスムーズにいかない。 ・短期の新規契約が増加している。特に自動車関連が良くなっている。 ・一部の企業からは一時帰休等の雇用調整等が一段落し、通常稼働となる話を聞くが、現状体制のまま様子を見ており、求人募集までは至らない。
	変わらない	人材派遣会社（経営者） 人材派遣会社（社員） 求人情報誌製作会社（経営者） 職業安定所（職員） 職業安定所（職員） 学校〔専門学校〕（副校長）	・大手の会社が仕事の量が少なく、ほとんど頼まれない。 ・状況的に当社の取引先もなかなか予算を取ってもらえない状況で、例えば設備関係の修繕もその都度予算を取ってもらえたのだが、法的にどうしても必要なもの、運営上どうしても欠かせない修繕のみに絞られてきており、その予算も厳しくなってきた。 ・各企業は現在の人員で事業を進めていくなれば良い方で、人件費削減に力を入れているところが多くなってきている。 ・新規求人数及び有効求人数が20か月連続して前年を下回っている。製造業からの求人も相変わらず減少している。 ・求職者の動向には若干の落ち着きが見られるものの、求人の減少傾向についてはしばらく変化はない。 ・昨年9月から求人数が減り始め、1年たつ現在も好転の兆しがまったく見られない。高校生の就職が9月から解禁になるが、危機感は例年に増して強い。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-